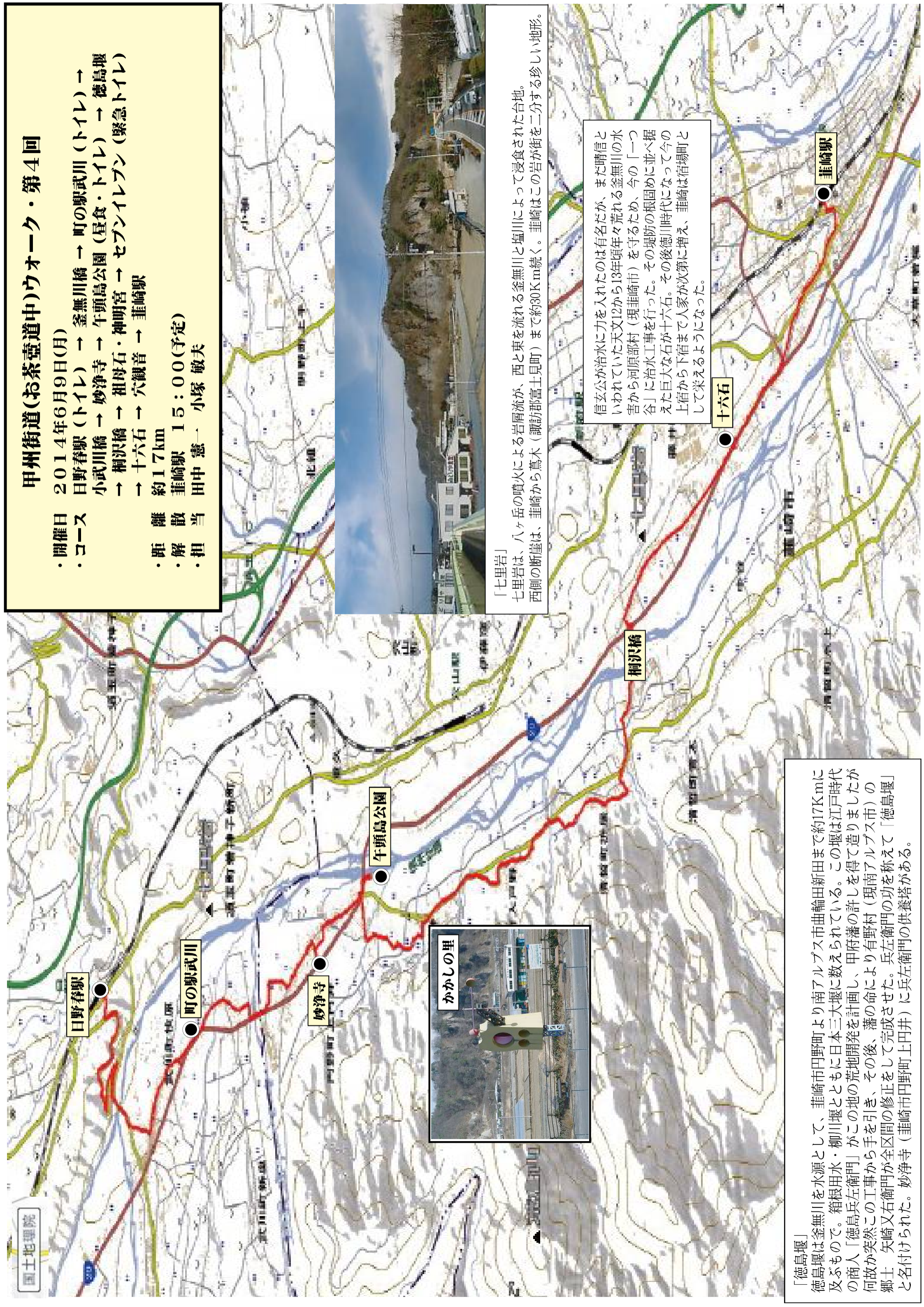


甲州街道(お茶壺道中)ウォーク・第4回

- ・開催日 2014年6月9日(月)
- ・コース 日野春駅(トイレ) → 釜無川橋 → 町の駅武川(トイレ) → 小武川橋 → 妙浄寺 → 午頭島公園(昼食・トイレ) → 徳島堰 → 桐沢橋 → 祖母石・神明宮 → セブンイレブン(緊急トイレ) → 十六石 → 穴観音 → 韮崎駅
約17km
- ・距離 約17km
- ・解散 韮崎駅 15:00(予定)
- ・担当 田中 憲、小塚 敏夫



かかしの里



「七里岩」

七里岩は、八ヶ岳の噴火による岩屑流が、西と東を流れる釜無川と塩川によって浸食された台地。西側の断崖は、韮崎から鳶木(諏訪郡富士見町)まで約80Km続く。韮崎はこの岩が街を二分する珍しい地形。

信玄公が治水に力を入れたのは有名だが、また晴信といわれていた天文12年から13年頃年々荒れる釜無川の水害から河原部村(現韮崎市)を守るため、今の「一つ谷」に治水工事を行った。その堤防の根固めに並べ置いた巨大な石が十六石。その後徳川時代になって今の上宿から下宿まで人家が次第に増え、韮崎は宿場町として栄えるようになった。

「徳島堰」
徳島堰は釜無川を水源として、韮崎市円野町より南アルプス市曲輪田新田まで約17Kmに及ぶもので、箱根用水・柳川堰とともに日本三大堰に数えられている。この堰は江戸時代の商人「徳島兵左衛門」がこの地の荒地開発を計画し、甲府藩の許しを得て造りましたが何故か突然この工事から手を引き、その後、藩の命により有野村(現南アルプス市)の郷土 矢崎又右衛門が全区間の修正をして完成させた。兵左衛門の功を称えて「徳島堰」と名付けられた。妙浄寺(韮崎市円野町上円井)に兵左衛門の供養塔がある。